

米子自衛防火協会

平成21年8月

第57号

会報

米子自衛防火協会事務局

米子市両三柳 5452 番地
鳥取県西部広域行政管理組合消防局予防課内
TEL0859-35-1954

印刷所 東京印刷株式会社



会長就任挨拶

米子自衛防火協会 会長

林 秀明

会員の皆様方には、平素から当協会の運営につきまして格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は、前会長の吉野の後任として今年4月に王子製紙(株)米子工場に着任しました林でございます。前吉野会長が任期途中で転勤しました後、理事会のご推挙により6月より米子自衛防火協会の会長を務めさせていただくことになりました。

内田副会長始め地元の方で適任者が大勢居られる中、米子の地に転勤したばかりの私がお引き受けるのはいささか僭越ではございますが、誠心誠意、当協会の発展のため会長職を務めて参りたいと存じますので、今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

さて、昨今の社会経済情勢の変化や自然環境の変化により我々を取り巻く災害要因はますます複雑化、多様化の一途を辿っています。未だ明るさの見えない経済展望の中で起きた大阪此花区のパチンコ店放火事件、集中豪雨による山口県の土石流災害など、想定外の火災や自然災害により多くの尊い命が奪われました。

しかしながら、これらの被害は全く予想できなかったものではなく、迅速な避難誘導や避難勧告により防げた可能性も否定できません。多くの火災事故、災害原因には人的な要因が大きく係わっており、改めて危機管理体制の充実が求められています。

各種災害に対し、迅速に対応して被害を最小限に食い止めるには、我々企業や住民がそれぞれの立場で防災の役割を分担し、消防機関を始めとする行政と一体になって防災体制を確立していかねばなりません。

当協会も地域社会と連携し防火・防災の推進に全力を挙げるとともに、各事業所の防火管理体制の設備充実を図るべく各種研修の実施、情報の提供を積極的に推し進めていく考えでありますので、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、米子自衛防火協会並びに関係当局の皆様方の益々のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子

2009年度 全国統一防火標語

米子自衛防火協会役員会及び第42回定期総会を開催



また、同日に開催された当協会の第42回定期総会では、新会長のもと平成20年度事業・決算報告並びに平成21年度事業計画・予算案が審議され、いずれも原案通り全会一致で承認されました。

【平成21年度の主な事業計画】

- 先進地視察研修
- 新規採用職員防災研修会
- 会報刊行
- 防火ビデオ・DVD購入、貸し出し
- 協会ホームページ開設
- 防火管理者講習会の図書斡旋等

協会ホームページを開設

当協会専用のホームページを作成する事案が、平成21年度の定期総会において提出され承認されました。今秋の開設に向けて只今、準備を進めております。

また、ホームページ開設に併せまして、希望者には各情報をメールで配信させていただきます。

今まで郵送でお送りしていた研修会や講習会の案内を始め、消防に関するお知らせ、不正販売業者の出入り等の緊急連絡などタイムリーな情報を会員の皆様にお伝えします。

さらに、自衛防火協会の会員限定に、西部消防局が開催する防火管理講習をメールで申込みできるサービスも検討中です。

準備が整いましたら会員の皆様にご案内差し上げます。

平成21年度 講習会情報

【甲種防火管理新規講習】

講習場所：鳥取県西部広域行政管理組合消防局

- ◆第2回 平成21年9月16日(水)～17日(木)
受付期間 平成21年8月28日～9月11日
- ◆第3回 平成21年11月25日(水)～26日(木)
受付期間 平成21年11月2日～11月18日
- ◆第4回 平成22年3月17日(水)～18日(木)
受付期間 平成22年2月22日～3月10日

【消防設備士講習】

講習場所：鳥取県立倉吉体育文化会館

- 消火設備 平成21年10月6日(火)
 - 警報設備 平成21年10月7日(水)
 - 避難設備・消火器 平成21年10月8日(木)
- ※受付期間はいずれも平成21年8月3日～9月2日

火災予防関係規集のご案内

「鳥取県西部広域行政管理組合火災予防規集」を新しく作成致しました。

平成21年4月1日の条例改正により、危険物規則がすべて消防法等施行細則に加わり内容が大幅に変更になりました。また、共同防火管理、防災管理等の新たな法令改正事項も組み入れ、さらには手数料条例も追加して盛りだくさんの内容となっております。

例規集は1冊700円、米子市危険物保安協会事務局で販売しております。

収入の部	
会費	1,303,000円
雑収入	400,105円
繰越金	668,895円

支出の部	
事業費	600,000円
会議費	180,000円
事務費	45,000円
委託費	1,229,000円
基金費	100,000円
予備費	218,000円

平成21年6月11日、西部消防局に於いて吉野会長の退任(転勤の為)に伴い理事会が招集されました。当日は総役員数22名のうち19名委任状含む)によりご審議いただいた結果、全会一致で林秀明氏(王子製紙(株)米子工場)が第11代の会長に選任されました。

平成21年上半期 西部消防局管内における火災・救急・救助概況

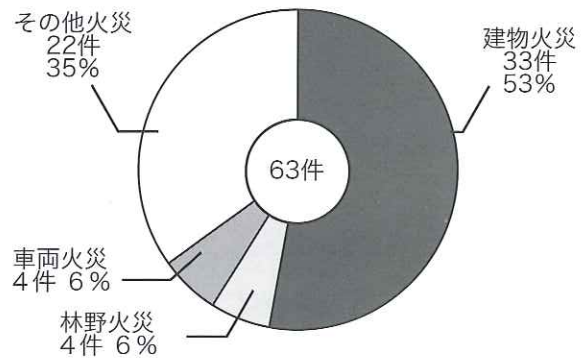
1. 火災概況

本年上半期の火災件数は63件(前年48件)で、前年と比べて建物火災が4件、その他火災(枯れ草火災などの火災)が10件増えており、その要因として、春先からの好天で降水量が減り乾燥した日が続いたことや、火を扱う方々の不注意によるものと考えられます。

火災原因については、「放火(疑いを含む)」が11件と第1位を占め、次いで「たき火」「火入れ」8件、「ストーブ」が6件の順となっています。

全国統計においても、これらは常に火災原因の上位を占めていることから、当管内において更なる防火広報等の実施を行い、圏域住民の防火意識の高揚と徹底を図ることが重要だと考えられます。

火災種別ごとの件数と構成比率



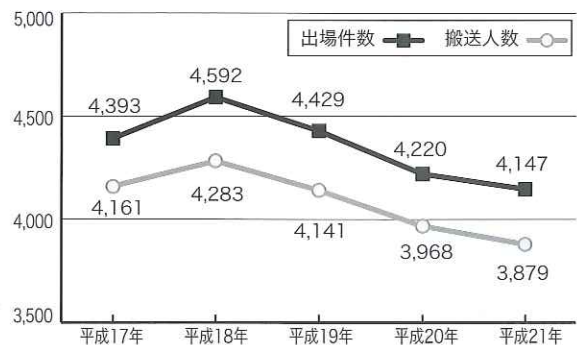
2. 救急概況

救急出動件数は4,147件で前年に比べ73件、救急搬送人員は3,879名で89名の減少となり、3年連続の減少となっています。

傷病程度別搬送人員では、中等症が48.8%で半数近くを占めておりますが、重症14.4%に対し軽症34.6%と軽症者が重症者の2倍以上を占めており、今後も救急車の適正な利用を呼びかけていかなければなりません。

心肺停止傷病者に対して家族等により応急手当が実施された件数は52.7%で毎年少しずつ増加しています。救急現場での早期の応急手当が救命のチャンスを拡大します。

過去5年間の救急推移



3. 救助概況

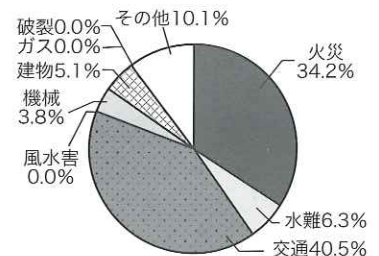
救助出動件数は79件(前年78件)、救助活動件数は65件(前年56件)でいずれも前年より増加しています。

救助人員は46名(前年45名)で、事故種別で見ますと、交通事故が最も多く、次いで建物事故の順となっています。

全国的に地震、列車事故などの災害規模が大規模化することに伴い、県内や県外の消防、医療、防災機関、行政などの迅速な連携活動が必要不可欠となっています。

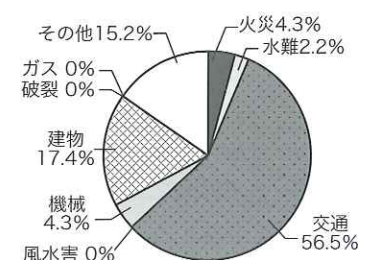
事故種別救助出場状況

事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械
出場件数	27	5	32	0	3
建物	4	0	0	8	79



事故種別救助人員状況

事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械
救助人員	2	1	26	0	2
建物	8	0	0	7	46



全てのご家庭に 住宅用火災警報器を!

1日も早い設置をお願いします。住宅用火災警報器が大切な命・財産を守ります。

なぜ設置するの?

住宅火災による死者の7割が逃げ遅れによるものであることから、住宅火災の犠牲者を減らすために消防法及び火災予防条例により、全ての住宅に火災警報器の設置が義務付けられました。

警報器の設置場所

1. 平屋住宅設置例



※就寝の用に供する居室が1室のみの場合

2. 2階建て住宅設置例



※就寝の用に供する居室が1階のみの場合



※就寝の用に供する居室が2階のみの場合



※就寝の用に供する居室が1階と2階にある場合

: 住宅用火災警報器

設置上の注意点 (天井・壁面の取付位置)

〈天井の場合〉

▼壁面からの取付位置
火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。

▼梁などがある場合の取付位置
火災警報器の中心を梁から60cm以上離します。

▼エアコンなどの吹き出し口付近の取付位置
換気扇やエアコンの吹き出し口から1.5m以上離します。

〈壁面の場合〉
天井から15～50cm以内に火災警報器の中心がくるように取り付けます。

住宅防火対策推進シンポジウムのご案内

「地域ぐるみで推進する住宅防火」をテーマに、このたび米子市で住宅防火対策推進シンポジウムが開催されます。

このシンポジウムは住宅用火災警報器の設置・普及を目的に全国各地で開催されており、当日は住宅防火対策グッズの紹介やパネルディスカッションなどを通して、参加していただいた住民一人一人に住宅防火に対する理解を深めていただき、地域一体となった住宅防火対策を皆さんと一緒に考えていきます。

火災から大切な命を守るため、ぜひご参加ください。

主催：住宅防火対策推進協議会

共催：鳥取県西部広域行政管理組合消防局

8月28日 (金)
米子市文化ホール

入場無料

プログラム

- 12:30 受付開始
- 13:00 開場
- 13:30 開会・ごあいさつ
野坂康夫 (鳥取県西部広域行政管理組合管理者・米子市長)
竹村好史 (総務省消防庁予防課長補佐)
- 13:45 第1部 基調講演
菅原進一 (東京理科大学大学院教授)
- 14:30 第2部 パネルディスカッション
コーディネーター 菅原進一 (東京理科大学大学院教授)
パネリスト 竹村好史 (総務省消防庁予防課長補佐)
船越 聡 (鳥取県西部広域行政管理組合消防局予防課長)
山根美和子 (米子市消防団女性分団長)
井上耐子 (鳥取県連合婦人会長)
景山 誠 (株式会社日本海新聞社 西部本社 報道課編集委員)
- 16:00 閉会

